

# 大災害に備えて

～ N H K 東京旧友会 会員の皆様へ ～

( 2 0 2 1 年 )

ここには、大災害発生時における東京旧友会の活動を掲げました。会員の皆様は、5月末ご自宅にお届けした「大災害に備えて」（冊子版）により、ご自分の居住地区のコア会員が誰であるか、事前に必ず確認しておいてください。

- ◎東京旧友会では大災害発生時に会員の皆様の無事を確認するため、安否確認活動を実施します。
- ◎大災害発生時にN H Kから旧友会に業務支援の要請があった場合、会員との連絡・調整を図り、業務の支援活動をします。
- ◎コア会員とは「安否確認」「業務支援」活動のそれぞれの地区での『連絡・調整』をしていただく、いわば“地区の班長さん”です。

N H K 東京旧友会

## 目 次

### [Ⅰ] 東京旧友会 会員の皆様へ

1. メールアドレス(メール会員)登録のお願い . . . . .
2. 「コア会員」登録のお願い . . . . .

### [Ⅱ] 安否の確認

1. 安否確認の流れ . . . . .
2. コア会員の皆様へのお願い(コア会員の役割) . . . . .
3. 会員の皆様へのお願い . . . . .

### [Ⅲ] NHK業務支援

1. 業務支援の流れ . . . . .
2. 業務支援について . . . . .
3. OBの業務支援についてのNHKと旧友会の共通認識 . . . . .
4. 各放送局および本部の業務支援の要望等 . . . . .
5. 「さいたま局友の会」について . . . . .

### 【参考】大災害発生時の安否情報の連絡・確認について

1. J-ampi ～安否情報まとめて検索～ . . . . .
2. 通信各社が提供する災害用伝言サービスとは . . . . .
3. 災害用伝言サービスとその利用法 . . . . .

## [ I ] 東京旧友会 会員の皆様へ

東日本大震災以降、年々防災への意識が高まっているように思います。

一方、全国各地でその後も大きな地震や大規模な風水害などが発生して被害が出ています。いざ、という時の安否確認方法や避難場所の確認、備蓄など家族で相談をしていますか？ 行動を伴ってこそその備えです。

私達も普段からいっそう災害に備えていきたいと思えます。

東京旧友会では、大災害発生時には会員の皆様の無事を確認するため、

①会員の安否確認活動 を行います。

そして、状況によりNHKから業務支援の要請があった場合に

②NHK業務への支援・調整 を行うことにしています。

災害時ですから特に会員の安全を第一に考え、無理をせず、可能な範囲でこれらの活動を実施するようにします。

会員の安否確認にはメールと電話を利用します。災害発生直後にはメールによる連絡が有効です。地区のまとめ役のコア会員と連絡を取りやすくするため皆様にメールアドレスの登録をお願いしています。

現在、全会員の皆様のおよそ36%の方々に登録をしていただいています。メールアドレスを登録いただいたメール会員の皆様には、毎月、事務局から旧友会やNHKの最新情報を満載したメールマガジンをお送りしています。

メールアドレスの登録は、現在ご覧いただいているNHK旧友会のホームページから簡単にできますので、是非、登録をお願いいたします。

## 1. メールアドレス(メール会員)登録のお願い

- ・とても簡単です！ 現在ご覧になっているインターネットの「NHK旧友会」のホームページから登録ができます。
- ・{メール会員登録のお願い} の項に進み、**メール会員登録**をクリックして画面に従って必要事項を記入、送信します。
- ・登録が終了すればあなたも『メール会員』となり、毎月「旧友会メールマガジン」が届きます。最新情報が満載されています。

「NHK旧友会」のホームページ (URL は <http://qu-nhk.org/wordpress/> です)

### メール会員登録のお願い

電子メールは災害時や緊急時の連絡手段として極めて有効です。メール(アドレス)会員の登録をお願いします。メール会員の皆様には情報満載のメールマガジンを毎月お送りしています。旧友会員の方は下のボタンをクリックしてメールフォームに入り、必要事項を記入して送信してください。

メール会員✕登録

パスワード✕紛失

メールアドレス✕変更

**今すぐ登録 URL** <http://qu-nhk.xsrv.jp/script/mailform/ad-member/>

**\*\* 今すぐ登録いただける方は、上記のURLをクリックしてください \*\***

登録画面が立ち上がりますので、必要事項を記入して送信してください。

※メールアドレスは旧友会からの情報連絡と災害体制整備の目的以外には使用しません。

## 2. 「コア会員」登録のお願い

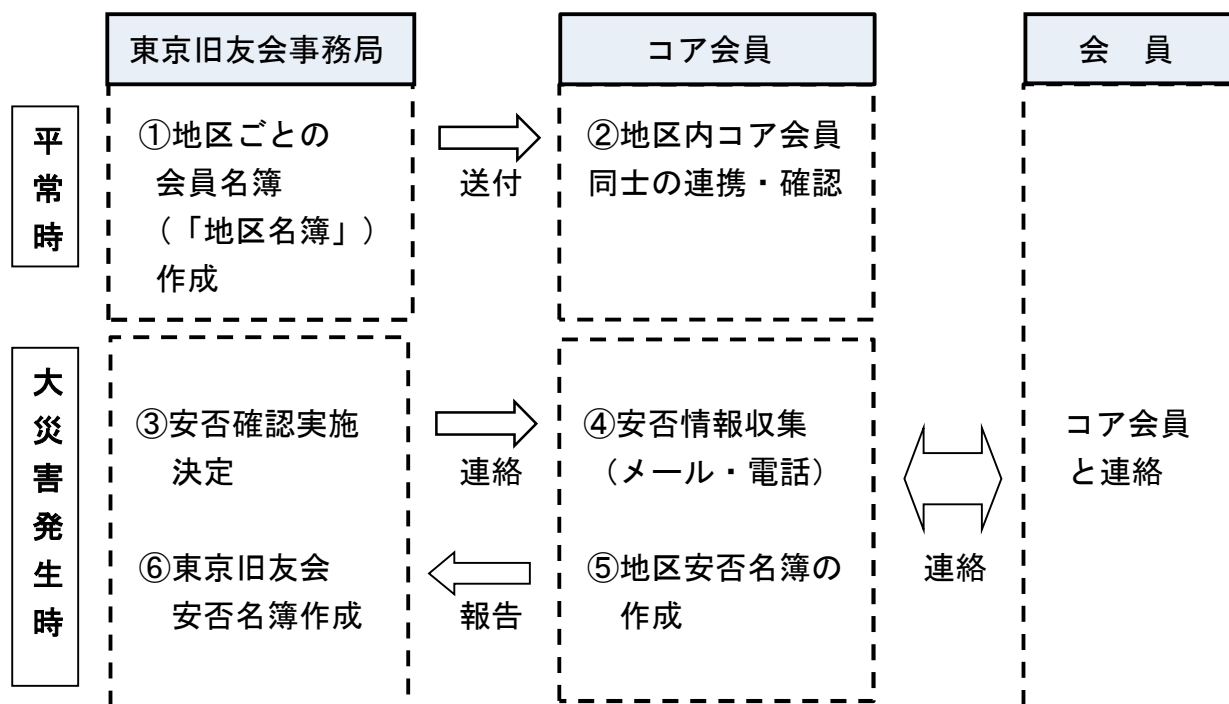
大災害発生時に「居住地区の会員の安否確認」や「NHK業務支援・調整」活動に協力いただける方はメールアドレス登録の際、「コア会員として活動できる」欄にチェックをお願いします。

既にメール会員の方でコア会員になっていただける方は「NHK旧友会ホームページ」から再度「メール会員登録」ボタンを開いて登録をお願いします。

※2021年4月現在のコア会員は419名です。

## [Ⅱ] 安否の確認

### 1. 安否確認の流れ



- ① 毎年、地区ごとの会員名簿（「地区名簿」）を更新し、事務局から5月末を目途に各地区コア会員へメールで送付する
- ② 同一地区内のコア会員同士で連携を図り、事前に役割を確認する
- ③ 大災害発生後、事務局が状況を判断し安否確認実施を決定、会員の安否確認をメールでコア会員に依頼する
- ④ コア会員がメールや電話で地区会員の安否情報を収集する
- ⑤ 会員の情報をまとめ、地区安否名簿を作成して事務局にメールで送付する
- ⑥ 事務局が安否名簿を作成する
- ⑦ 作成した安否名簿を「J-anpi」システム（準備中）に登録する  
J-anpiの詳細は【参考】欄を参照ください。

※北関東・甲信越にお住いの会員の皆様は各県の旧友会が連絡拠点になります。  
各旧友会の連絡先一覧は別途お送りした冊子にあります。

## 2. コア会員の皆様へのお願い（コア会員の役割）

東京旧友会では住居を基に会員を5地域118地区に分けています。コア会員1名の地区もありますが、多くは複数のコア会員がいます。地区ごとの安否情報を確認するためには、コア会員同士の連携が重要です。

### ○安全の確保

大災害発生時には、コア会員はまず、ご自身とご家族の安全を確保してください。そのうえで会員の安否確認を行ってください。

（安否確認活動の開始時期等は事務局からメールでご連絡します）

会員の安否確認はメールと電話を利用してください。災害発生直後に現場に行くことは原則として避けてください。

### ○「地区」ごとに安否情報を一つにまとめて返信

集まった情報を可能な限り「地区」ごとにまとめ、事務局から送られた地区安否名簿フォーマットに入力してメールで返信してください。

その後、情報が増えた段階で随時差し替えて返信してください。

## 3. 会員の皆様へのお願い

### ○メールアドレスの登録

大災害時には電話が使いにくくなる可能性があります。

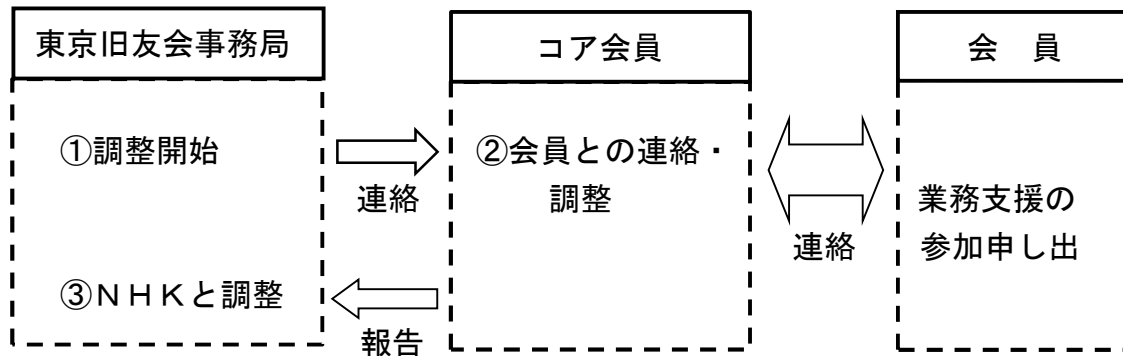
できるだけ事前にメールアドレスの登録をお願いします。

### ○「地区」および「担当コア会員」の確認

それぞれの会員が自分の所属する地区と、その地区のコア会員が誰であるかを確認してください。大災害発生時にはご自身とご家族の安全を確保したうえで、積極的に地区のコア会員と連絡するようお願いいたします。コア会員に連絡がつかない場合は東京旧友会事務局に直接連絡してください。

## [Ⅲ] NHK業務支援

### 1. 業務支援の流れ



- ① NHKからの要請に基づき、支援業務内容等調整する
- ② 会員への連絡と参加者の情報を取りまとめる
- ③ NHKと参加者の調整をする

### 2. 業務支援について

旧友会はNHKから大規模災害発生時にOBの専門性を生かして業務支援をしてほしいと依頼されています。

旧友会事務局ではNHKからの業務支援の要請を受けた場合、会員との連絡・調整に当たります。具体的な業務内容や条件等はNHKと旧友会事務局が双方で確認した下記「3.」項目の『OBの業務支援についてのNHKと旧友会の共通認識』を踏まえ、ご本人とNHKとの間で決定します。

※業務支援は会員の安否確認活動開始後、一定の時期が経過し、NHKの業務が引き続き厳しい状況にあった場合にNHKからの要請により開始するものです。

### 3. OBの業務支援についてのNHKと旧友会の共通認識

- 本人および家族の安全が確保されたうえで、無理なく通勤し作業できることを前提とします。
- ローテーションを確保して長時間の業務はしないことにします。
- 発災直後はNHKが支援の受け入れ体制を作ることが困難なため、状況を判断し業務支援を開始することを目指します。
- 業務支援はOBの自発的なボランティア精神によって行いますが、NHKとの間では直接雇用スタッフ契約を結び、業務として行います。(通勤時災害の補償などを考慮) 開始時、口頭での合意があれば事後契約も可能です。特殊な場合を除き災害発生前の契約は行いません。

#### 4. 各放送局および本部の業務支援の要望等

##### ○関東南3局

以下の業務等への支援要望があります。

▽ライフライン生活情報の収集・入力作業および編責・デスク業務

▽アナウンス業務

▽視聴者対応業務

(電話受け・局の窓口対応・避難所への受信機設置支援など)

▽総務業務 (ロジ対応)

##### ○NHK本部

NHK本部は職員の全国応援・関連団体の支援等があり、OB支援の可能性は低いと思われます。特定の業務について要請があれば対応します。

#### 5. 「さいたま局友の会」について

平成27年11月、大規模災害発生時にさいたま放送局の業務を支援する目的でOB有志の会「さいたま局友の会」が発足しました。

さいたま局近くに居住する方を中心に会員が参加されています。さらに参加者を募っています。参加していただける方は旧友会事務局にご連絡ください。



## 【参考】大災害発生時の安否情報の連絡・確認について

### 1. J-anpi ～安否情報まとめて検索～

J-anpi は、通信各社が提供する災害用伝言板の安否情報および NHK、各企業・団体が収集した安否情報をインターネットを利用してまとめて検索・確認できる共同サイトです。

#### ○J-anpi の利用法

- ・インターネットで「J-anpi」のサイトにアクセスします。

「J-anpi」のサイトの URL : <http://anpi.jp/>

- ・画面に検索したい方の名前または電話番号を入力して安否情報を確認します。
- ・東京旧友会では確認された会員の安否情報を「J-anpi」に登録する準備を進めています。
  - \* 「J-anpi」に安否情報登録を希望されない方は、旧友会事務局までご連絡をお願いします。

### 2. 通信各社が提供する災害用伝言サービスとは

- ・大災害発生時には、被災地への回線が混み合って電話やメールがつながりにくくなります。
- ・こうした事態に対応するため、通信各社では、災害時の安否情報を伝える手段として災害用伝言サービスを提供しています。

【災害用伝言サービス】

- ・災害用伝言ダイヤル（171）
- ・災害用伝言板
- ・災害用伝言板（web 171）
- ・災害用音声お届けサービス

\* 「災害用伝言サービス」は、大災害が発生した場合、通信各社によって運用されます。電話やメールがつながりにくい時、ご家族や知人の安否の連絡や確認にこの「災害用伝言サービス」のご利用をお勧めします。

\* 「災害用伝言サービス」は、体験利用日にも運用されますので、体験することができます。

### 【体験利用日】

- ・毎月1日、15日
- ・正月三が日（1月1日～3日）
- ・防災とボランティア週間（1月15日～21日）
- ・防災週間（8月30日～9月5日）

\*「災害用伝言サービス」については、総務省のウェブサイトに詳しく解説されています。是非、ご覧ください。

### \*総務省のウェブサイト

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/net\\_anzen/hijyo/dengon.html](http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html)

## 3. 災害用伝言サービスとその利用法

\*それぞれのサービスの利用については、通信各社で画面の表示や操作の仕方に違いがありますので、詳しくは、それぞれの通信会社のウェブサイトを参照してください。

○災害用伝言ダイヤル（171）・・・NTTが提供する電話による音声の伝言板  
・被災地の電話番号宛に、固定・携帯電話等から音声で録音（登録）した伝言を全国から確認できます。

- ・伝言の録音時間は1伝言30秒以内で、20伝言まで登録可能です。
- ・災害用伝言板（web171）と連携していて双方の伝言を双方で確認することができます。

・伝言の録音・再生手順は以下の通りです。

- ①「171」をダイヤルします。
- ②ガイダンスに従って、録音したいときは「1」を再生したいときは「2」をダイヤルします。
- ③ガイダンスに従って、連絡をとりたい方の電話番号をダイヤルします。
- ④伝言を録音・再生することができます。

○災害用伝言板・・・通信各社が提供する携帯電話やスマートフォンを使用する伝言板

- ・被災地から携帯電話やスマートフォンで登録したメッセージをインターネット等を通じて全世界から確認できます。

- ・通信各社が提供する災害用伝言板のサイトにアクセスして\*1 被災の状況（4 択）やコメント（100文字迄）のメッセージを登録できます。
- ・メッセージの確認は、同サイトにアクセスして確認したい方の電話番号で検索します。パソコンからも可能です。
- ・メッセージを通知したいメールアドレスを最大5件まであらかじめ登録しておくことができます（登録お知らせメール）\*2。
- ・確認の結果、メッセージが登録されていない場合は、登録を依頼するメールを送ることができます（登録お願いメール）\*2。

\*1：各社専用アプリも利用できます。

\*2：各社で異なります。

#### ○災害用伝言板（web171）・・・NTT が提供するインターネットを利用した伝言板

- ・パソコン、スマートフォン、携帯電話で登録した伝言をインターネットを介して検索、確認できるサービスです。
- ・伝言を登録、確認する場合のキーとして、電話番号を使用します。
- ・web171サイト（<https://www.web171.jp>）へアクセスして、伝言を登録する電話番号を入力し、続けて名前、メッセージを登録します。登録文字は1伝言あたり全角100文字まで、1電話番号あたり20伝言まで可能です。
- ・伝言の確認は、web171サイトへアクセスして、電話番号で検索します。
- ・災害用伝言ダイヤル（171）と連携していて双方の伝言を双方で確認することができます。
- ・伝言を伝えたい方にメールや電話で届けられるようあらかじめ登録しておくことができます。（伝言板登録：web171サイトから登録します）
- ・伝言が登録されていない場合、ご自身のメールアドレスを登録して、伝言が登録された時に通知を受けることができます。
- ・携帯電話番号を入力して、各携帯電話会社の災害用伝言板にある伝言を検索することができます。

#### ○災害用音声お届けサービス・・・通信各社が提供する携帯電話やスマートフォンで録音したメッセージをパケットで伝送するサービス (令和3年度中に終了)

- ・サービスを利用するには、通信各社専用のアプリが必要です。
- ・アプリを起動させて、画面の手順に従って音声を録音、送信します。
- ・録音時間は30秒以内です。
- ・SMS等で通知されますのでアプリでメッセージを再生します。\*3

\*3：各社で異なります。

\*通信各社のウェブサイト

NTT グループ	<a href="http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html#disaster_board">http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html#disaster_board</a>
NTT 東日本	<a href="http://www.ntt-east.co.jp/saigai/">http://www.ntt-east.co.jp/saigai/</a>
NTT 西日本	<a href="https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html">https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html</a>
NTT ドコモ	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/">https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/</a>
KDDI (au)	<a href="https://www.au.com/mobile/anti-disaster/">https://www.au.com/mobile/anti-disaster/</a>
ソフトバンク	<a href="https://www.softbank.jp/disaster/">https://www.softbank.jp/disaster/</a>
Y! mobile	<a href="https://www.ymobile.jp/service/?cat=anshin">https://www.ymobile.jp/service/?cat=anshin</a>